

## レッスン1: 支援製品とは？

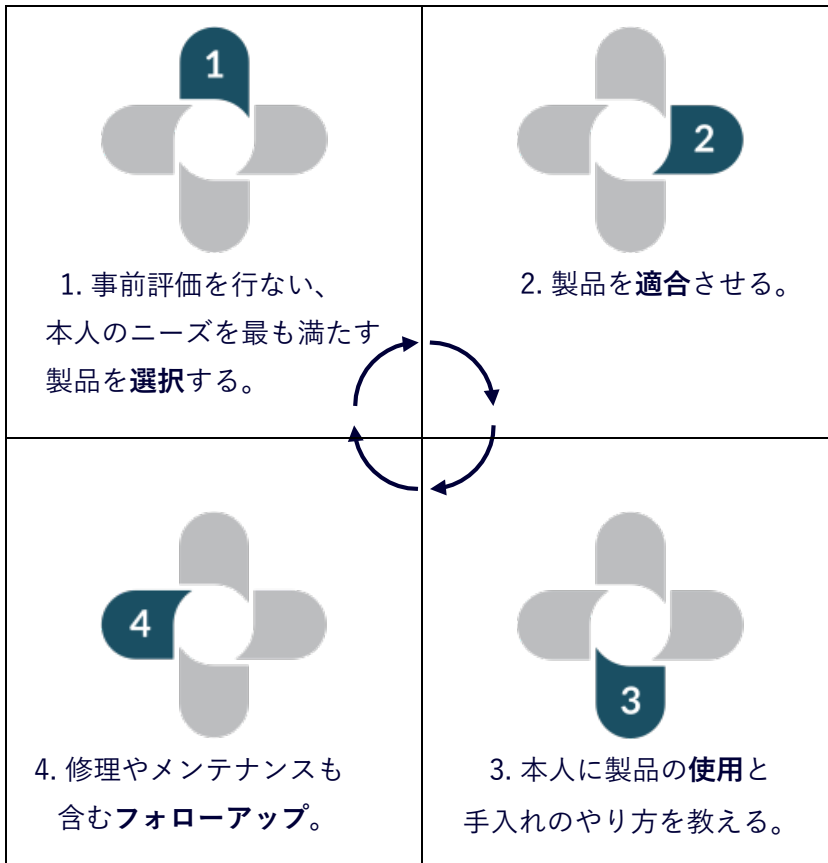
- 支援製品とは、人びとがそれなしではうまく、あるいはまったくできない課題をやりとげるために用いる製品です
- 支援製品は、大人も子どもも利用できます
- 支援製品にはたくさんの種類があり、生活のさまざまな領域（例：思考、コミュニケーション、聴覚、視覚、移動、セルフケアなど）で人びとの役に立ちます
- 多くの人が、ニーズに従って複数種類の支援製品を用います

## レッスン2: どんな人が支援製品の供与に関わるのか？

- 支援製品の供与では多くの人が役割を果たしています。例えば、
  - 支援製品を必要とする本人
  - その家族や友人
  - 支援製品が必要な人びとの紹介・相談に当たる人
  - 教習を受けたサービス供与者
  - 地域の人びと

## レッスン3: 支援製品供与のやり方

支援製品は、4つのステップをへて供与されます。



- これら4つのステップは、安全で適正な支援製品が供与され、人びとが支援製品を用いる技能を身につけ、フォローアップ支援を受けて製品がニーズを満たし続けるために役立ちます
- 製品を受け取る本人（および適切ならその家族や介助者）が、そのプロセスの全ステップへ積極的に参加することがたいへん重要です

## レッスン4: 支援製品サービス供与において考慮すべきこと

- 支援製品には供与に時間がかかるものもあれば、ただちに供与できるものもあります。これはさまざまな要因に左右されます。例えば、
  - その支援製品の複雑（ややこし）さ
  - 本人のニーズおよび健康条件（疾患）
  - その支援製品を用いる環境
  - その支援製品を用いる人の経験度合い
- 用いる支援製品が適切であっても、しばしば人びとは自分がやりたいことをやろうとすることへの障壁に直面します。こうした障壁の例としては、
  - アクセスできない環境などの物理的障壁
  - 偏見や差別
  - アクセスしやすい情報の不足
  - 支援する政策やサービス事業の不足
- 支援製品を使用する人びとが、一員となって、やりたいことを他の人と対等にできるようにするために、だれもが果たすべき役割を担っているのです